2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	視覚病態生理学Ⅰ特論Ⅰ・Ⅲ	木村 修平

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

（1）眼球の解剖や組織を理解して，眼科診療の基本手技である細隙灯顕微鏡検査や倒像鏡検査を遂行できる能力を修得する。
（2）網膜硝子体疾患を中心とした代表的な疾患に対する治療を修得するため，各疾患の病態生理を理解する。

授業到達目標

（1）細隙灯顕微鏡や倒像鏡検査を実施する。
（2）網膜硝子体疾患を中心とした代表的な疾患の病因，診断方法や治療方法を具体的に説明できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	水	17:00-19:00	木村 修平 三木 淳司 鎌尾 浩行 瀬戸口 義尚	講義	[症例検討会]	手術症例検討会 [場所:本館棟４階眼科外来検査室 4662]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1）１年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1）１年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

症例検討の要約について，添削して返却する。

教科書

ISBN-9784260024112, 標準眼科学, 中澤満, 村上晶編集 ; 澤口昭一 [ほか] 執筆, 医学書院, 2016

参考書

ISBN-9784260019408, 黄斑疾患診療 AtoZ, 岸章治, 吉村長久編, 医学書院, 2014

準備学習（予習・復習等）

（1）予習：研究対象や受け持ち症例に関する論文を読む。2-3 時間程度。
（2）復習：論文紹介または症例検討会で指摘された点に関する文献および論文を読み要約する。1-2 時間程度。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

医学・医療分野を牽引し，指導的役割を果たすことができる。

注意事項・メッセージ

基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。